

環境経営レポート



刈鋌工業 株式会社

実施期間 2019年1月～2019年12月

作成日 2020年2月28日

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

1 組織の概要	3 ページ
2 対象範囲	4 ページ
3 環境経営方針	5 ページ
4 環境経営目標	6 ページ
5 環境活動計画とその評価及び次年度の取組み	7 ページ
6 環境経営目標の実績 環境活動取組(写真)	8 ページ
7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11 ページ
8 代表者による全体評価と見直しの結果	12 ページ

1. 組織の概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 功一
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数(2019年12月現在)	役員 3人 従業員 110人 派遣社員 43人
・売上高	2019年3月 46億3000万円 2018年3月 42億2700万円 2017年3月 38億7800万円
・環境管理責任者	取締役副社長 江原 圭亮
・担当者連絡先	環境活動事務局 江原 悠司(0565-52-3824)

2. 事業内容

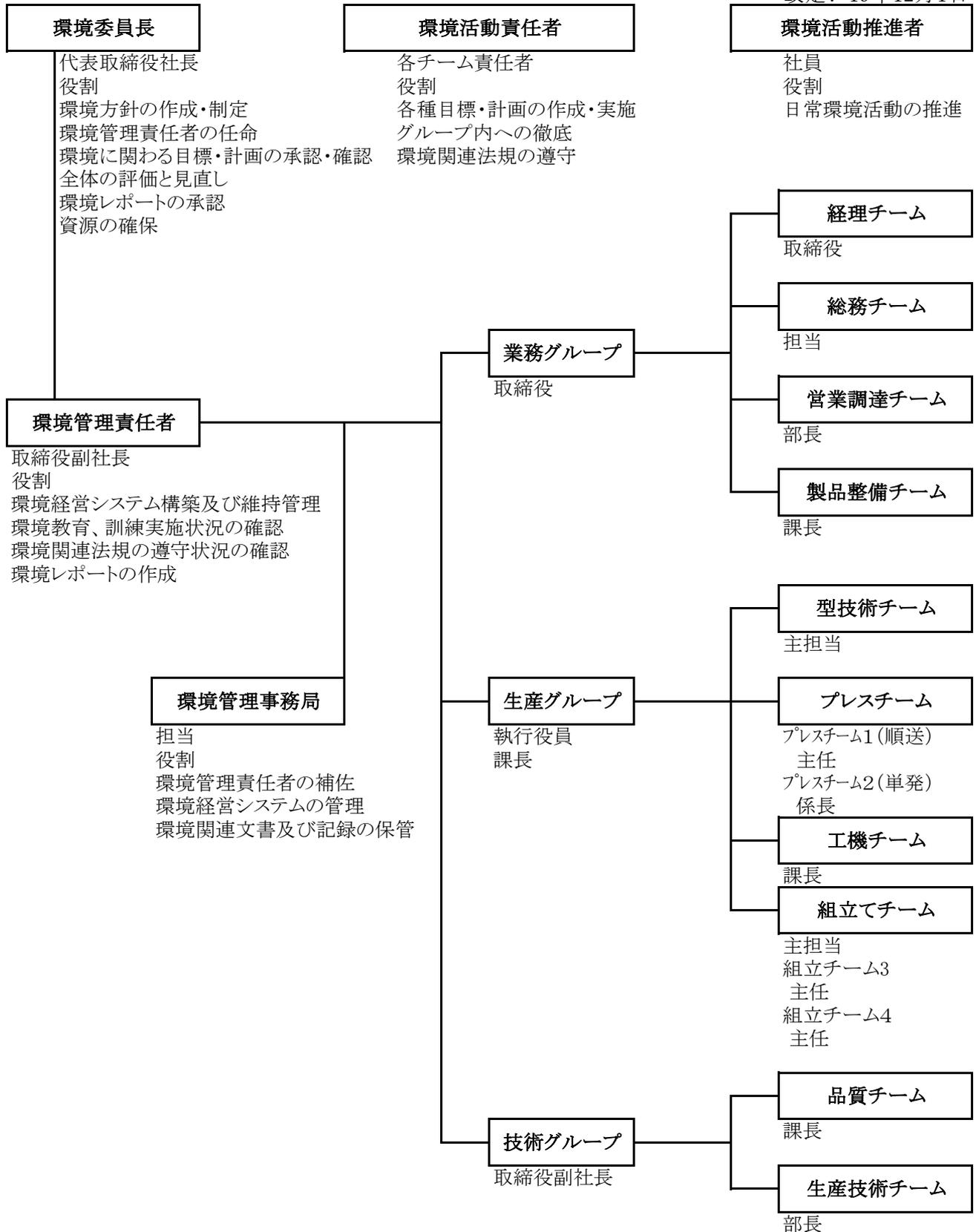
- ・自動車部品製造(車体系機能部品)
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

3. 主要取引先

- ・アイシン精機株式会社

2. 対象範囲

川飯工業株式会社
 作成: '17年 6月 1日
 改定: '19年12月1日



役員3名 社員110名 派遣43名 合計156名

環 境 方 針

環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

活動方針

1. 当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
2. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
3. 次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
 - ①省エネルギー活動を推進し、CO₂排出量を削減する。
 - ②産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
 - ③グリーン購入の推進。
 - ④化学物質使用量の削減。
 - ⑤不良品を削減し、品質目標を向上させる。
 - ⑥環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にする企業を目指す。
 - ⑦地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

刈鉾工業株式会社
環境委員長
代表取締役

江原 功一

4. 環境経営目標

18年度実績(基準)	目標('19年)	目標('20年)	目標('21年)
エネルギー使用量の削減 CO ₂ の削減 二酸化炭素排出 610.2t-CO ₂ 原単位 49.72kg-CO ₂ /1万個	-5%削減 年 570t-CO ₂ 47.0kg-CO ₂ /1万個	-6%削減 福利厚生設備増加により上昇予測	(-7%削減) 目標値の見直しを行なう
購入電力の削減※ 1,237,526kWh 392kW 化石燃料使用量の削減 9,893L	-5%削減 年 1,175,000kWh 最大電力 390kW 年 9,400L	-6%削減 総使用電力量の低減 最大電力の低減 (設備増加により上昇予測) 車両の買換えで削減 の見込み	(-7%削減) 総使用電力量の低減 最大電力の低減 目標値の見直しを行なう
排出物の低減 一般廃棄物 燃やすごみ 13.28t 再資源化物 0.71 t 産業廃棄物 再資源化物 11.05 t 再資源化以外 1.87 t 鉄スクラップの低減 5,261t/年 品質不良の低減 クレーム件数 217件	燃やすごみ 10t 再資源化物 0.80t 再資源化物 5t 再資源化以外 0.40t 年 4,800t クレーム件数 120件	現状維持の続行 現状維持の続行 低減活動を行なう 品質不良の低減 活動内容の見直しを行なう	目標値の見直しを行なう 目標値の見直しを行なう 低減活動を行なう 品質不良の低減 活動内容の見直しを行なう
水使用量の削減 8,106m ³ 化学物質使用量の削減 PRTR対象物質 - 総化学物質 20,574L 購入資材の適正化 鋼材使用量の削減 13,979t 部品使用量の削減 1,177百万円 紙使用量の削減 278,705枚	年 3,000m ³ 年 130kg 年 13,000L 年 8,300t 年 1100百万円 年 270,000枚	目標値の見直しを行なう 使用量の管理 目標値の見直しを行なう 使用量の管理 使用量の管理 受注増加により上昇予測 使用量の管理	目標値の見直しを行なう 適正な管理を行なう 適正な管理を行なう 目標値の適正化を行なう 目標値の適正化を行なう 目標値の見直しを行なう
グリーン購入の推進(事務用品) 10.07%	グリーン購入 90%	集計方法の確立 グリーン購入90%以上	グリーン購入90%以上

※ 電力のCO₂排出係数 0.474kg/CO₂(中部電力2009年)

5. 環境活動計画とその評価及び次年度の取組み

全社にて取り組む計画と各グループ・チームにおいて目標を立て実施する計画を立て活動

取組み項目	取組み内容	実績・評価
エネルギー使用量の削減 空調の温度設定管理 休憩時間の消灯管理 工場圧縮空気の漏れ確認・修理	各グループ・チーム毎冷暖房設定温度チェックリスト記入 各グループ・チーム毎休憩時の消灯 個別活動計画表にて管理	○
排出物の低減について 一般廃棄物	ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置 廃棄物排出量管理表への記入	○
産業廃棄物	分別の周知 使い切る努力、再利用の推進	○
鉄スクラップの低減	不良廃却の低減	○
品質不良の低減について	朝ミーティング活動 週一会議の実施	○
水使用量の削減について	節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握	○
化学物質の使用量の削減	使用量の把握 適正使用量の管理	○
購入電力の削減 省エネタイプ設備への移行 デマンド装置の設置	設備導入時 時間ごとの電気使用量の把握	○
化石燃料の削減について ガソリン、軽油使用量の管理	アイドリングストップの周知 エコドライブの推進	○
灯油使用量の管理	ストーブのつけっぱなしをなくす 灯油使用量管理表への記入	○
購入資材の削減について 鋼材使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○
部品使用量の削減	品質活動によるロスの低減	○
紙資源の再利用の促進について コピー紙使用量の削減 帳票紙使用量の削減	メールの利用等、文書の電子化の推進 裏紙使用の周知 使用量の把握	○
グリーン調達推進について	新規購入品の確認 一覧表にて確認	○

●次年度も上記取組みを各グループ・チーム単位で実施する。

6. 環境経営目標の実績

2018年実績(基準)	2019年 環境目標	2019年 実績	昨年比	生産比	実施状況の評価
12,271万個	総生産数	14,258万個	112%	—	
CO2排出量 610.17t-CO ₂ 49.72kg-CO ₂ /1万個	-5%削減 年 570t-CO ₂ 原単位 47.0kg-CO ₂ /1万個	576.71t-CO ₂ 40.45kg-CO ₂ /1万個	昨年比 95% 目標比 101% 昨年比 81% 目標比 86%	85% —	原単位では減少しており、 効率的な生産活動ができています
購入電力 1,237,526kWh 392kW	年 1,175,000kWh 最大電力 390kW	1,170,465kWh 398kW	95% 102%	85% 91%	節電効果が出ている 取り組み成果は出ているが原因の不明な突発的上昇が 発生するため調査を継続する
化石燃料 9,893L	年 9,500	9,184L	93%	83%	HV車を導入(入替)したため、減少した
排出物 一般廃棄物 13.28t 0.71t	燃やすごみ実績 10t 再資源化物実績 0.80t	14.15t 0.70t	107% 99%	96% 88%	不用品の廃棄(5S)を推進したため、 廃棄物が増加した
産業廃棄物 11.05t 1.87t	再資源化物実績 5t 再資源化以外実績 0.40t	11.67 0.88	106% —	95% —	
鉄スクラップ 5,261.7t	年 4,800t	5,052.64	96%	86%	効率的な生産活動ができています
品質不良 217件	クレーム件数 120件	197	91%	—	外国人派遣従業員の増加や、 ルール不遵守が多発していた
水使用量 8,106m ³	年 3,000m ³	6,614m ³	82%	73%	漏水修理やポンプの交換等を行い、使用量が 削減できた
化学物質(PRTR)使用量 — 総化学物質使用量 20,574L	年 130kg 年 1,300L	139.9kg 23,130L	— 112%	— 101%	集計方法を変更したため、対比できず
購入資材 鋼材使用量 13,979t	年 8,300t	10,762t	77%	67%	発注システムの在庫管理方法を変えたため、 無駄な購入が減少している
部品使用量 1,177百万円		1,081百万円	92%	82%	発注システムの在庫管理方法を変えたため、 無駄な購入が減少している
紙使用量 278,705枚	年 270,000枚	256,500枚	92%	82%	問題なく推移している
グリーン購入の推進 グリーン購入比10.07%	グリーン購入 90%	グリーン購入比44.37%	—	—	集計方法を変更したため、対比できず

次年度は、今年度の計画を各Tさらに深掘りを行う

6. 環境活動取組

非常事態訓練の実施

12月27日大地震を想定し全社員参加にて訓練を実施

避難指示に従い仮避難地に集合し、その時間や経路を確認した。



6. 環境活動取組

5階PRホールのエアコンを経年劣化のために新しいエアコンへ換えました。

室内機4機(天井埋め込み型)



これにより、空調効率が上がり、電気消費量が削減される見込みです。

室外機4機



井戸水の加圧給水ポンプと塩素注入機を経年劣化に伴い買い替えました。

加圧給水ポンプ



塩素注入ポンプ



これにより、安定的な吸水と塩素注入が行われ、水の使用量と塩素の使用量が安定・削減される見込みです。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、訴訟の有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法律名	遵守事項	遵守状況
公害防止組織の整備に関する法	公害防止統括者の選任 公害防止管理者の選任	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検 簡易点検対象全て・定期点検7.5kW以上	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化	遵守
県民の生活環境の保全等に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例	環境負荷の低減	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

遵守評価日 2020年 2月 28日
 遵守評価者名 刈鋌工業株式会社
 環境管理責任者
 取締役 副社長 江原 圭亮

8. 代表者による全体の評価と見直し

実施日 2020年 2月 28日

刈鉾工業株式会社

見直しに必要な情報			代表者による見直し																					
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項																					
<p>[取り組み状況の評価結果]</p> <p>昨年度に引き続き生産量は伸び、繁忙状態にあつて省エネ・環境活動へのリソースが不足する中、全体的には設備改善や品質改善による効果がでている。</p> <p>品質向上、適正な鋼材調達といった面は成果が出ていると考えられ</p> <p>各種排出物への低減活動は可燃ごみが減り紙リサイクルが増えるといった傾向は出てきたがまだまだ周知、強化の余地がある。</p> <p><改善への提案></p> <p>人の入れ替わりが激しい中でも、人の手で守るしかないルールを継続して教育していく。</p>			<p>[環境方針]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																					
<p>[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>生産比状況</th> <th>達成状況の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂の削減</td> <td>5.7%減</td> <td>生産対比は15.52%減少</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物</td> <td>増加傾向</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物</td> <td>6%増</td> <td>排出時期の関係</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>18.4%減</td> <td>修繕が2019年中に進行した</td> </tr> <tr> <td>化学物質使用量</td> <td>-</td> <td>集計方法を変更したため未評価</td> </tr> <tr> <td>電力使用量</td> <td>5.4%減</td> <td>節電効果が出ている</td> </tr> </tbody> </table> <p><改善への提案></p>			目標項目	生産比状況	達成状況の評価	CO ₂ の削減	5.7%減	生産対比は15.52%減少	一般廃棄物	増加傾向		産業廃棄物	6%増	排出時期の関係	節水	18.4%減	修繕が2019年中に進行した	化学物質使用量	-	集計方法を変更したため未評価	電力使用量	5.4%減	節電効果が出ている	<p>[目標・活動計画]</p> <p>変更の必要性: 必要に応じて変更する</p> <p>下記指示事項</p>
目標項目	生産比状況	達成状況の評価																						
CO ₂ の削減	5.7%減	生産対比は15.52%減少																						
一般廃棄物	増加傾向																							
産業廃棄物	6%増	排出時期の関係																						
節水	18.4%減	修繕が2019年中に進行した																						
化学物質使用量	-	集計方法を変更したため未評価																						
電力使用量	5.4%減	節電効果が出ている																						
<p>[周囲の変化の状況]</p> <p>①外部コミュニケーション記録より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの苦情はありません <p>②環境関連法規制等の動向他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的チェックを実施 <p><改善への提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持 			<p>[その他]</p> <p>変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																					
<p>[総括]代表者による指示事項</p> <p>目標及び計画達成率について前年対比達成率と生産量との関係における単位当たりの達成率も参考に表示してはどうか。派遣社員等の入れ替え等で周知と教育が大変ではあるが目標達成して行くためにも、努力を惜しまずに教育してほしい。</p>																								
<p>平成32年2月28日</p>			